

**NPO法人 がん患者支援ネットワークひろしま**

oo  
五月晴れの日々が続いておりますが、時折、梅雨時の高い湿度を肌を感じたり、夏のように暑く感じる日が多くなってきましたが、会員の皆様は、いかがお過ごしでしょうか？

ニュースレター第5号をお送りします。

5月28日（土）午後5時30分から、当会の16年度事業報告と収支決算を審議していただく通常総会を開催しました。理事も会員の皆様にとっても初めての決算総会でしたが、不慣れな事務局が作成した決算案を、事前の監事のチェックで何とか形となり、会員の皆様に審議していただくことができました。昨年度の反省に立って皆様とともに新年度に向けて本格的にがん患者さんご家族の支援に取り組んで参りたいと思います。

**●Dr. 津谷の「がん患者の在宅療養は任せんさい」（特別版）**

\*\*\*\*\*

法人設立時から懸案だった、がん相談室がようやく開設です。

がん支援ネットワークひろしまの大きな目的の一つであるセカンドオピニオン推進事業の一環として、がん相談室を開設いたします。

1年前より構想をあたためていたのですが、場所や時間など制約があり、がん患者さんや家族の方の要望になかなか応えることができませんでした。

このたび当ネットワークの担当医を中心に、がん専門医や在宅医の紹介、治療や在宅治療などの不安に対するアドバイスなど、がんに関するよろず相談室として開設することができました。

場所は、中国新聞文化センター（広島市中区胡町3-19中国ビル5階。三越百貨店東隣）の一室を使用させていただくことになりました。

ここは以前から、私が禁煙セミナーを1回/月開催している場所です。広島を中心部でもあり、交通の便も良好です。

このがん相談室もスタートは1回/月、1件30分、完全予約制で行います。相談を受けたい方は、直接、中国新聞文化センターに申し込んでください。また、

ご意見、ご要望があれば事務局までご連絡ください。

**【がん相談室】**

日時：毎月第2土曜日、(1) 15:30 (2) 16:10 (3) 16:50

場所：広島市中区胡町3-19中国ビル5階

中国新聞文化センター中国ビル教室

費用：

■中国新聞文化センター入会金：2,100円（初回のみ）

■相談料（1回30分）：5,000円＋税

■申込み：中国新聞文化センター 担当山岡さん

TEL 082-545-7775

副理事長 津谷隆史

**●シリーズがん療養生活の基礎知識 A to Z**

\*\*\*\*\*

在宅医のつぶやき⑤

Yさんは肺癌の末期で脳に転移がありました。病院で治療を受けていましたが、Yさんは自分の家で療養することを希望していました。

ご家族はYさんの望みを叶えてあげたいと考えていましたが、自宅で療養することについては不安があり、どこに相談したら良いかも分からず困っていました。

Yさんのように「住み慣れた家で療養したい」と思っても在宅でどんな医療やサービスが受けられるのかが分からず、やむを得ず病院での療養を続けておられる多くの患者さんがおられます。

これには色々な要因が考えられますが、在宅における医療やケアを熱心に行っている在宅医や訪問看護ステーションが、たくさんあるにも関わらず、その情報が患者さんやご家族にうまく伝わっていないということが、大きな要因であると思われ、今後、在宅医や訪問看護ステーションの情報を、患者さんやご家族が有効に活用できるシステムの構築が必要であると考えています。

Yさんは入院していた病院のソーシャルワーカーに相談して、在宅医や訪問看護の手配をしてもらい自宅に帰ることができました。

自宅では好きなタバコを吸ったり、息子さんの介助で病院では禁じられていたお風呂に入ることもできました。

お孫さんたちは大好きなおじいちゃんのそばで遊ぶことができました。

そして退院して2週間たった日曜日の朝、奥さんや息子さん夫婦、お孫さんたちに看取られてYさんは永眠されました。

理事 田村裕幸

## ●「がん患者さんのためのQ&A」

\*\*\*\*\*

がん療養生活の中で、さまざまな疑問や不安を感じます。

私たちは、がん患者さんやご家族のこのような疑問や不安の一つひとつ答えていき、安心して療養生活をしていただきたいと考えています。

誠に申し訳ありませんが、藤本理事が学会出張等でご多忙のため今回はお休みさせていただきます。

疑問や不安について会員の皆様からのご質問をお待ちしております。

その代わりに、この欄を借りて会員様からのご質問を紹介させていただきます。

(問)「市民のためのがん講座」の内容を、(出席できなかった者の為に)PDFで配布していただく事は可能でしょうか?数がまとまれば、希望者で実費の負担も可能かと思いますが・・・(K.S様)

(答) 貴重なご提案をいただき、ありがとうございます。さっそく理事会でこのことを検討しました。

結論から言いますと、講座で使用した「スライド」を、PDF化して配付することには問題がありそうです。

講師の先生が使われておられる「スライド」は、全てが講師オリジナルの資料ではなく、ほかの医師や研究者の資料や、文献などで著作権のある資料や映像などを使われている場合があるそうです。従って、当面「スラ

イド」をPDF化して配付できませんので、ご理解いただきたいと思ひます。

理事 高野 亨

## ●スペシャル企画「第1回がん患者大集会」

\*\*\*\*\*

初夏を思わせる5月28日に、NHK大阪ホールに全国から2,000人近い仲間が集い、「変えよう日本のがん医療、手をつなごう患者と家族たち。」をスローガンに第1回「がん患者大集会」が開催されました。

今回は3つのテーマについて話し合われました。

### (1) 地域格差をなくそう

- ・大都市と地方の格差  
地方では病院の数も少なくセカンドオピニオンも受けにくい  
大都市で受けられる抗がん剤治療と同じものが地方では受けられない  
地方ではがん患者であるということすら言えない
- ・医療機関の格差  
医療機関によって設備や技術の違いが大きい
- ・世界との格差  
患者が主役でいられる  
治療承認された抗がん剤が多い

### (2) 未承認薬の問題

- ・4月7日に承認されたオキサリプラチンについて  
「海外では何年も前から認証されている薬が、何故日本では使えないのか」  
佐藤均氏（がんと共に生きる会）の厚生省への問題提議によって異例のスピードで承認された。
- ・消化器系のがんに使われていた「TS-1」については、今回肺がんにも適用できることになった。さらに全ての部位に使えるようにしてほしい。
- ・混合診療について  
せめて海外で承認された薬については混合診療を認めてほしい。

### (3) 情報の開示

国立がんセンターの情報だけでは患者には充分ではないので、情報を統合して提供する機関が必要である。がん情報センター（JCIC）の構想がある。情報と個々の患者を結ぶ専門の勉強をした医療コーディネーターが必要である。

#### 【厚生労働省 中谷比呂樹氏】（元広島県福祉保健部長）

- ・がん対策推進本部が設置され、部署や局を超えて取組んで行く。
- ・5年生存率を20パーセント引き上げる。
- ・未承認の薬については承認手続きをスピードアップするため、未承認薬問題検討会が設立される。

#### 【感想】

- ・厚生労働大臣の挨拶が役所からのお仕着せではなく、ご自身の言葉で語られていたことが、とても印象的で好感が持てました。
- ・私たちがこの会を立ち上げた目的の一つに情報提供があります。
- ・ネットワークを結んで、地域（患者さんや家族、在宅医や訪問看護師など）に有益な情報を提供しサポートすること。
- ・様々ながんに関する情報をがん患者さんやご家族に提供することなどいろいろな役立つ情報を得る事が出来ました。  
今回の経験を今後の活動に大いに生かしていきたいと思います。

副理事長 佐々木佐久子

### ●平成17年度「市民のためのがん講座」始まる（ちょっと紹介）

\*\*\*\*\*

5月28日、広島市中区地域福祉センターで、今年度最初の「市民のためのがん講座」（6回シリーズ）が開催されました。

そこで、がん講座に潜入して参りましたので、ご参加されていない会員の皆様に少しだけご報告したいと思います。（極秘の潜入レポートです）

今回は約90人の方が熱心に受講されていました。今年度から講座内容が

充実化されて、2人講師制となりました。(一度で二度美味しい!)

まず最初の講師は、安井弥先生(広島大学医学部)で、テーマは「がん細胞の不思議」でした。

がんとは「慢性増殖性疾患」であり、がんの生物学的特性に関係する種々な遺伝子や分子の異常を研究することによって、がんの発生メカニズムの解明、診断法や治療法の開発が行われており、将来的にはがんのテラーメイド医療につながることなど、難しい内容をとても解りやすくお話しされました。

お話された内容の一部ですが理解できたような気持ちとなり、さらに、もっと知りたいという気持ちになった講義でした。

2人目は広川裕先生(順天堂大学医学部)で、テーマは「子宮がんの基礎知識」でした。

同じ子宮のがんであっても、子宮体部がんと子宮頸部がんは、その診断・治療・予後のすべてにおいて異なるので、子宮体部がんと子宮頸部がんの違いを正しく理解することが大切であるということを強調されていました。この講義も、素人でもよくわかる楽しい講義でした。

このように楽しく、わかりやすく「がん」のことを勉強できる「市民のためのがん講座」に参加してみませんか? 広川理事長やがん専門医に、直接自分の不安や不満を尋ねて解消できるかもしれませんよ。詳細は事務局にお尋ねください。

理事 中村峯子

## ●平成17年度新規事業を準備中です

\*\*\*\*\*

「がん患者さん及びご家族の支援スタッフ養成研修」計画中

今年度、がん電話相談「がん110番」など、各種プログラムにおいて、患者さんやご家族に対応する技術を持つスタッフの養成研修を計画しております。

今回は短期間での養成となるため、主としてカウンセリング等の経験者を募集対象とさせていただきます。どうぞ皆様のお力をお貸しください。

**【事業計画案】（予定）**

日時：全7回（9/11、9/25、10/9、10/23、11/13、11/23、12/11）

場所：広島市中区地域福祉センター 5階 小会議室

（広島市中区大手町4丁目1-1 市役所の電車通り向かい側）

対象：研修終了後、当会のがん電話相談等の各種事業に参加することを条件とします。

①カウンセリング研修及びボランティア研修の修了者又は実践者

②医療従事者

研修内容：①がん医療の実際

②がん患者さんとご家族の思い

③腫瘍精神医学、在宅医療の実際

④在宅・訪問看護の今

⑤緩和ケア 等

募集人員：約20名

受講料：5,000円

申込先：事務局

理事 中原秀子

**●広島県内のがん関係イベント情報**

\*\*\*\*\*

○第13回日本ホスピス・在宅ケア研究会 in 広島

2005年6月18日（土）～19日（日）広島国際会議場

「寄り添う心わかちあう心 ～私はあなたを一人にしない～」

事務局（電話082-222-1555 [hiroshima2005@chive.ocn.ne.jp](mailto:hiroshima2005@chive.ocn.ne.jp)）

参加費：事前登録5,000円 当日6,000円（1日のみ4,000円）

学生2,000円

○平成17年度第2回「市民のためのがん講座」（全6回シリーズ）

2005年7月23日（土）15時～17時広島市中区地域福祉センター

テーマ：①がん早期発見のPET検査（広島平和クリニック 大塚信昭先生）

②卵巣がんの基礎知識（順天堂大学医学部 広川裕先生）

事務局（TEL/FAX 082-289-0610 info@gan110.rgn.jp）

参加費：（通年）会員 4,500円 協力団体会員 6,000円  
一般 7,500円

（1回）会員 800円 協力団体会員 1,300円  
一般 1,300円

### ●編集後記

\*\*\*\*\*

第5回ニュースレターは、5月中にお送りできず心苦しく思います。

これまでは、何とか月内に送付できていたのですが、とうとう間に合いませんでした。本当に申し訳ありません。毎度のことですが、次回こそ頑張ります。

引き続き、会員の皆様からのご意見、ご要望、ご質問を募集しております。是非、担当者へお寄せください。ご紹介させていただきます。

(浩)

---

■発行：NPO 法人がん患者支援ネットワークひろしま事務局

<http://www.gan110.rgn.jp>

■お問い合わせ：[info@gan110.rgn.jp](mailto:info@gan110.rgn.jp)

■Copyright：NPO 法人がん患者支援ネットワークひろしま

---